

日本・ノルウェー外交関係樹立120周年記念レセプション 国光外務副大臣ビデオメッセージ(和文)

- 御列席の皆さま、こんにちは。日本の外務副大臣の国光あやのです。
- このたび、日本・ノルウェー外交関係樹立120周年を、心からお祝い申し上げます。そして、本年を通じ、両国で各種関連行事が成功裏に実施されていることを歓迎いたします。
- 1905年にノルウェーの独立が宣言され、同じ年に日本との外交関係が樹立されました。それ以来両国は、これまでの長きにわたる皇室・王室間の交流を基礎に、友好関係を育んできました。
- ノルウェーは日本にとって、重要な戦略的パートナーです。安全保障、経済、人的交流といった様々な分野において、二国間の協力が具体的に進展しています。
- 特に、欧州・大西洋とインド太平洋の安全保障は益々不可分となっているとの共通認識の下、安全保障面での協力が深化しています。日本とノルウェーは、共にロシアの隣国であり、またウクライナを強力に支援しています。また、本年8月から9月にかけては、ノルウェーのフリゲート艦「ロアール・アムンセン」が史上初めて我が国に寄港しました。ノルウェーのインド太平洋地域への関与を歓迎します。

- 国際場裏においても、我が国とノルウェーは、WPSフォーカルポイント・ネットワーク共同議長を務め、女性・平和・安全保障(WPS)に関する国際的議論をリードしてきました。
- 先日閉幕した大阪・関西万博の機会には、アイデ外相を始めとする多くのノルウェーの方々にも訪日いただきました。二国間のビジネス関係強化の呼び水となっただけでなく、ノルウェーの魅力を日本国内、そして世界に発信する貴重な機会になったものと確信しています。
- 昨今の不確実性が高まる国際情勢において、両国間の協力はかつてないほど重要になっています。2025年も終わりに近づいていますが、この120周年をゴールとするのではなく、ますます強固になる両国関係の新たなスタートとして位置付けたいと思います。
- 私自身引き続き、日本とノルウェーの友好関係の更なる発展のために力を尽くしていく考えです。本日お越しの皆様におかれましても、今後とも両国関係の強化に向けて、引き続きのお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。
- ありがとうございました。

(了)